

寄附・寄贈者芳名 (10月1日～11月30日) 御寄附・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

株式会社沖縄タイムス様(10.11)



【写真左から1人目】
株式会社沖縄タイムス社
総務局長 玉城 淳様
【写真右から1人目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

福山グループ様(10.17)



【写真左から2人目】
福山商事株式会社
取締役 新垣 城作様
【写真左から1人目】
福山商事株式会社
紙業部部長 照屋 喜一郎様
【写真右から2人目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治
【写真右から1人目】
本会 総務企画部部長 新崎 盛信

株式会社西原グリーンセンター様(10.23)



【写真左から3人目】
株式会社西原グリーンセンター
代表取締役会長兼社長 古波津 昇様
【写真左から2人目】
株式会社西原グリーンセンター
専務取締役 外間 一成様
【写真左から1人目】
株式会社西原グリーンセンター
統括部次長 我喜屋 訓 様
【写真右から2人目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治
【写真右から1人目】
本会 事務局長 高良 正樹

小日山 幸子様(10.24)



【写真左から3人目】
小日山 幸子 様
【写真右から3人目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から2人目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治
【写真右から1人目】
本会 事務局長 高良 正樹
【写真左から2人目】
本会 総務企画部部長 新崎 盛信
【写真左から1人目】
本会 地域福祉部副部長 與儀 隆一

(一社)沖縄県電気管工事業協会 青年部会様(10.31)



【写真左から3人目】
(一社)沖縄県電気管工事業協会
青年部 部長 仲間 幹 様
【写真左から2人目】
(一社)沖縄県電気管工事業協会
副青年部 副部長 眞保米 崇様
【写真左から1人目】
(一社)沖縄県電気管工事業協会
青年部 副部長 知花 真育 様
【写真右から2人目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1人目】
本会 事務局長 高良 正樹

一般財団法人 湧川財団様(11.7)



【写真左から2人目】
一般財団法人 湧川財団
理事 金城 英樹様
【写真左から1人目】
一般財団法人 湧川財団
評議員 湧川 智仁様
【写真右から2人目】
那覇市母子生活支援センター さくら
事務長 平良 弥生様
【写真右から1人目】
本会 会長 湧川 昌秀

國和会様(11.14)



【写真左から1人目】
國和会
副会長 内間 耕様
【写真右から2人目】
沖縄県母子寡婦福祉連合会
事業推進部 與那嶺 祐梨様
【写真右から1人目】
本会 会長 湧川 昌秀

琉球朝日放送様沖縄タイムス社様(11.22)



【写真左から1人目】
琉球朝日放送
取締役 営業ビジネス統括本部副本部長
兼営業局長 小塚 邦一郎様
【写真右から1人目】
沖縄タイムス社
常務取締役 石川 達也様
【写真右から2人目】
本会 会長 湧川 昌秀

写真掲載以外の寄附・寄贈者芳名

・玉城 厚子様(11月8日)・株式会社 ツルハホールディングス様(11月15日)

※本会への寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで

表紙の作品
作品名
「琉球国王、王妃」

作者：岸本 秋子さん

桜林の雅号を持つ岸本 秋子さん(82)は、展示会回りを趣味にしています。今回の作品は人形の写真集を見ている時、「台もないのに自分の足で立っている!!」と机の上にポンッと乗っている人形を見て、「私も作ってみたい!」と、講座で作り方を習得。体や表情作り、着物を縫い、ヘアセットに至るまで小さくて難しい中、一からの制作、一年程かかりました。中でも冠が一番難しかったそうです。『武器を持たない平和な独立国である琉球の姿を、国王の素晴らしい玉御冠(タマンチャープイ) 衣装や装束を通し子ども達に伝えられたら!』今回は、愛媛旅行へも行った(全国健康福祉祭えひめ大会出品作品)と、制作の想いと魅力をステキな笑顔で語ってくれました(^^)

『第47回芸能の夕べ』を開催します

県社協では、「社会福祉活動資金づくり・第47回芸能の夕べ」を開催します。協賛出演団体の協力のもと、琉球舞踊をはじめ、古典音楽斉唱、日本舞踊、尺八と格調高い芸能の数々を愉しんでいただき、社会福祉活動へ御協力ください。皆様の御来場を心よりお待ちしております。

日時 令和6年2月12日(月)
17時開演(16時30分開場)

会場 アイム・ユニバースだこホール 大ホール

協賛出演団体
◇沖縄新進芸能家協会 ◇都山流尺八沖縄県支部
◇西川流沖縄県支部

入場料
1枚 1,500円 ※前売・当日同額

お問合せ先 沖縄県社会福祉協議会 総務企画部
☎098-887-2000

福祉情報 Vol. 213 2024.1.1

おきなわ



作品名：「琉球国王、王妃」(第13回かりゆし美術展 工芸の部/銀賞)
作成者：岸本 秋子さん(那覇市)

- 目次**
- 2 <<特集>>沖縄県かりゆし長寿大学の取り組み ~豊かな地域づくりに貢献したいシニアの方の学習の場~
 - 4 新年のあいさつ、第22回芸能チャリティ公演について
 - 5 THANKS 運動県民福祉講演会について、市町村こどもの居場所ネットワーク運営団体ゆんたく会
 - 6 「読谷の里」を紹介します!
 - 7 沖縄県ヤングケアラーチャンネルについて
 - 8 沖縄市泡瀬第三自治会「まーみな会」の活動を紹介します!
 - 9 第26回介護支援専門員実務研修受講試験、北部地区「福祉のしごと就職フェア」を開催します 等
 - 10 令和7年度事業(一部令和6年度)に要する「民間福祉資金要望調査」の受付について、「受配者指定寄附金制度」について 等
 - 12 寄附者芳名、表紙の作者のご紹介 等 「第47回 芸能の夕べ」の開催案内 他

広報誌「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を充てております。

特集

沖縄県かりゆし長寿大学の取り組み

～豊かな地域づくりに貢献したいシニアの方の学習の場～

県社協では、高齢者に体系的な学習の場を提供することによって、生きがいのある生活基盤の確立と健康の保持・増進に役立てるとともに、地域活動の担い手を養成することを目的として、「**沖縄県かりゆし長寿大学校**」を運営しています。

学習内容は、全学生が学ぶ「**一般教養課程**」と学科別に学ぶ「**専門課程**」及び「**クラブ活動**」で構成されています。卒業後の活動を見据え、体験や自主学習を中心とする実践的な講座展開により、一年を通じた学習機会を提供しています。



一般教養課程（教養講座・特別公開講座）

高齢期における新たな生活知識などの一般的な教養を身に付けるとともに、地域社会を支える担い手としての心構えを学びます。特別公開講座では、学生の他、一般聴講者や離島・過疎地域の方を対象にオンライン受講生を募集しています。

（学習分野）社会貢献・地域づくり、介護予防、健康増進等



専門課程（学科）

学科ごとに、社会の発展に貢献する専門的な知識を習得するとともに、ワークショップ等の学習形式により、卒業後の地域活動に役立つ実践力を養います。

専門課程は、三学科の専門課程があります。

地域文化学科は、沖縄の歴史・文化を学ぶことを通じて地域の魅力を再発見し、その成果を地域での活動に活かす力を養います。また、地域活動の学びを通じ、地域の様々な課題を発見・認識し、その課題の解決に向けてお互い



に自分の思いを出し合い、地域貢献へとつなげる技法を習得します。

（学習分野）郷土の歴史・文化、伝統、伝承遊び、玩具づくり、保育園現場体験 等

健康福祉学科は、高齢者に有効な福祉サービスやレクリエーションについて理論や実技を通して学び、地域において高齢者に必要な健康保持、増進活動を行う実践力を身につけます。

（学習分野）健康管理、介護実習、レクリエーション、老年学、福祉現場体験 等



生活環境学科は、高齢者が生活するうえで必要な事や環境問題について学び、身近なことから始められる活動から地域活動へ発展させる技法を学びます。

（学習分野）環境問題、ライフプランニング、消費者問題、リサイクル活動、自然観察、環境美化活動 等



クラブ活動

学生同士が自主的に企画・運営する活動を通して親睦・交流を図ることにより、人間関係の構築と卒業後における円滑な地域活動に繋がっていきます。

（学習分野）陶芸、絵画、漢方・薬草、写真、書道、園芸

その他、学校行事として、11月には「大運動会」、1月には「学習発表会」を実施し、日頃の学習の成果を披露する場を設けています。



地域活動・ボランティアへの参加促進

地域活動の担い手の養成、高齢者の生きがいづくり・健康づくりと社会参加への促進を目的として、在学時からボランティア活動へ積極的に参加できるような環境づくりや市町村社会福祉協議会と共催で地域の卒業生との交流会等を開催しています。

また、市町村社会福祉協議会からのボランティア活動情報を提供しています。



同窓会活動との連携

かりゆし長寿大学校は、平成3年の開校後、これまでに4073名の方が卒業されました。卒業後は同窓会生として、これまでに培ってきた知識や経験を活かし、各地域でシニアリーダーとして活躍されています。

同窓会の主な活動として、「平和祈念公園美化活動」、「かりゆし歌謡祭・文化祭」、「グラウンドゴルフ大会」などがあります。また、13のサークル活動があり、会員相互の交流を密にし、会員の親睦を図っています。



このように、かりゆし長寿大学校は、一貫したカリキュラムのもと、在学中から卒業後において、豊かな地域づくりに貢献したいシニアの方の学習の場を提供しています。

あなたの持っている可能性、
地域で生かしてみませんか…

令和6年度(第32期)

沖縄県かりゆし長寿大学校 学生募集

■募集内容

令和6年4月から令和7年3月の1学年制です。募集人員150名（ただし、募集人員中、21名は市町村社協の地域推薦枠とします）原則週1回（火曜日または木曜日）午前9時から午後12時の講義等とします。

■応募資格

- ①県内に居住し、令和6年4月1日以前に満60歳に達している者。
 - ②健康で地域活動を行う意欲があり、全期間通じて受講できる者。
- ※本校卒業生は除く。

■受講料

年間1万5千円
※ただし、事務手続き等に係る諸経費、学習に係る教材費、その他課外活動等に係る諸経費は、別途自己負担となります。（例：5年度クラブ活動費の負担額2万3千円～3万5千円）

■募集期間

令和6年2月1日（木）から令和6年2月28日（水）
午前9時～午後4時までとします。
（土日祝祭日を除く）

■お問合せ先

沖縄県社会福祉協議会
いきいき長寿センター 098(887)1344

学 科	募集人数		合 計
	火曜日 コース	木曜日 コース	
地域文化学科	25名	25名	50名
健康福祉学科	25名	25名	50名
生活環境学科	25名	25名	50名
合 計	75名	75名	150名

新年のあいさつ



社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会
社会福祉法人 沖縄県共同募金会

会長 湧川 昌 秀

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに
お迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

本県においては、コロナ禍や円安を背景とした物
価高などの影響を受け、生活困窮や社会的孤立など
の課題がより深刻化しております。また、子どもや若
者を取り巻く問題についても、ヤングケアラーや児童
虐待、引きこもりなど多様化しています。

そのような中、私達福祉関係者は、沖縄県が示す
「誰一人取り残さない、沖縄らしい優しい社会」づく
りに向けて、ともに行動していくことが求められてお
ります。

これらの動向を踏まえながら、沖縄県社協では、
関係機関との連携を図りつつ、「THANKS（サンクス）
運動～地域の人々が明るいネットワークを築き、支え
合う社会を目指して～」のさらなる推進に取り組むと
ともに、「沖縄県社協第5次地域福祉活動総合計画」
の着実な実施により、本県の社会福祉活動の向上に
邁進する所存でございます。

さらに、複雑・多様化する社会福祉課題解決に向
けた取り組みを財源的に支える「赤い羽根共同募
金」、そして子ども達の豊かな育ちと学びを支援する
「りゅうちゃん子どもの希望募金」につつましても、一
層の発展を進めてまいります。

年の初めにあたり、県民の皆様のますますの御健
勝と御多幸を祈念申し上げますとともに、社会福祉に
対する尚一層の御理解と御協力をお願い申し上げ、
新年のごあいさつといたします。

令和6年1月吉日

【報告】社会福祉活動資金づくり協力

第22回芸能チャリティ公演 人が繋ぐ福祉の輪・ ウチナンチュの肝ぐる

社会福祉活動資金造成を目的に、「第22回芸能チャリティ公演～人が
繋ぐ福祉の輪・ウチナンチュの肝ぐる～」（主催：第22回芸能チャリティ
公演実行委員会・県社協）が12月17日に沖縄コンベンションセンター
劇場棟にて開催されました。

コロナ禍を経て、5年ぶりとなる今回の公演では、出演団体を中心に
実行委員会を組織し、企画から御協力いただきました。

公演には、22団体・約300人の芸能家の皆様ボランティアで出演し、
琉舞や日舞、八重山舞踊、民謡、器楽、フラダンス、民踊などバラエティー
豊かな演目で、観客を魅了しました。



▲西原篤一実行委員会会長をはじめ、主催者・出演者によるフィナーレ



▲琉球舞踊「四つ竹」



▲フラダンス「ワイウル」

フィナーレでは、島うた少女テンによる豊年
音頭にあわせ、出演者が舞台上に集まり、全員
でカチャーシーを踊った後、安室流室山会の
弥勒節（ミルク節）で幕を閉じました。

チケットを御購入いただいた皆様、協賛廣
告に御協力いただきました38企業・団体の
皆様に心より御礼申し上げます。

本公演の収益金は、全額、社会福祉活動
資金として活用させていただきます。



～THANKS（サンクス）運動県民福祉講演会～

地域におけるヤングケアラーの支援について、ひとり人ができることは・・・

令和5年11月20日、「THANKS（サンクス）運動
県民福祉講演会」を県総合福祉センターにて開催し、民
生委員児童委員、福祉関係団体、行政・教育関係者等、
約150名の参加がありました。

県社協による「THANKS（サンクス）運動の取り組み
について」の説明の後、県青少年子ども家庭課の山城
雅彦氏から行政説明がありました。この中で、県内児童
生徒を対象とした実態調査結果の報告があり、ヤングケ
アラーと思われる子どもは全体の5.5%にあたる7,450人
おり、うち支援が急がれるのは1.8%の2,450人いるこ
とが明らかとなりました。

県では支援体制強化のため、令和5年度からコーディ
ネーターを配置するとともに、LINEを活用した相談窓
口の設置や関係者向けの研修会を実施すると述べられ
ました。

次に、兵庫県尼崎市でスクールソーシャルワーカーの
黒光さおり氏から「沈黙のヤングケアラー～その笑顔の
内側に～」と題し講演がありました。

黒光氏からは、自身の体験談や事例についても触れ
ながら、小学生・中学生・高校生、若者それぞれの年

代ごとに課題の特徴と留意点
について解説がありました。

また、子ども達の心身の健
康を守るためには、地域との
つながり、周りの大人との関
係性は重要であるため、地域
の中で挨拶や何気ない声かけ
を行ってほしいと参加者に呼
びかけました。



▲講師の黒光さおり氏

ヤングケアラー支援で重要なこと（要旨）

- 児童生徒本人ではなく家族と仲良くなり、
家族を支援してほしい
- 家族を喜ばず人に心を開いてくれることがある
- すぐに専門の相談窓口につなぐのではなく、
児童生徒本人の気持ちに寄り添い、焦らせない
- ケアは人生の一部、
無くすのではなく楽しみもできるように調整する
- 一番大切なのは安心・安全な近くの人（支援者）の存在

ネットワークのメリット、運営方法について意見交換



市町村こどもの居場所ネットワーク運営団体ゆんたく会

令和5年11月14日、「沖縄県子どもの居場所ネットワーク連絡会（市町
村こどもの居場所ネットワーク運営団体ゆんたく会）」を県総合福祉センター
にて開催し、市町村ネットワーク運営団体や行政、社協等の関係団体より33
名が参加しました（主催：県社協）。

トークセッションでは、NPO法人シンコペーション 池原千佳子氏（浦添市
ネットワーク運営団体）と那覇市社会福祉協議会 浦崎直己氏（那覇市ネット
ワーク運営団体）が「民間運営団体によるネットワーク運営」と題し、ネットワ
ーク結成直後と現在の変化、ネットワークのメリット等について紹介しました。

ゆんたくタイムでは、ネットワーク運営の取り組み状況や課題、今後やって
みたいことについてグループで意見交換を行いました。

参加者からは、「ネットワークのメリットを広めていきたい」「今回のような
他市町村の状況など情報交換できる機会が定期的にほしい」などの声が寄せ
られました。



社会福祉法人 祥永会

特別養護 読谷の里 老人ホーム

を御紹介します

本島中部の西海岸、人口 4 万人余りの日本一人口の多い村である読谷村。座喜味の自然豊かな環境と近隣には病院が立ち並び、立地条件に恵まれた場所に読谷の里はあります。ゆっくり落ち着いた環境で、ご利用者の安心・快適・笑顔を大切にサービスを提供しています。



理念

1. 社会福祉法人としての使命を自覚し、これを実践します。
2. 高齢者の自立を支援します。
3. 経営の安定を図り、充実した福祉サービスを提供します。

法人概要

社会福祉法人 祥永会 法人認可
 特別養護老人ホーム 読谷の里
 読谷の里デイサービスセンター 短期入所生活介護事業所 読谷の里
 読谷の里 指定居宅介護支援事業所
 読谷の里 指定訪問介護事業所
 小規模多機能型居宅介護事業所 よみたんふれあいの里
 グループホーム よみたんふくぎの里
 地域密着型介護老人福祉施設 紅華の森
 ぽかぽか保育園・わくわく学童

わたしの施設は
こんなところですよ！

介護老人福祉施設 読谷の里

介護職員を中心に、施設長、看護職、訓練員、相談員、ケアマネ、管理栄養士、栄養士、調理員、事務員が連携しながらご利用者の支援をしています。常にご利用者とご家族の立場に立って期待やニーズを理解し、安心して快適な、楽しく生き甲斐の持てる生活を過ごして頂き、ご利用者・ご家族に満足して頂けることを目標に、介護サービスを提供しています。

小規模多機能型居宅介護事業所 よみたんふれあいの里

通所、訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせて提供する事業です。赤瓦屋根の古民家をイメージした造りとなっており、広々とした庭にペットの大きなミニ豚、季節の野菜を植える畑があります。隣には保育園があり、子供達と一緒に運動会や敬老会、夏祭り等を通して交流し、ご利用者の生きがい作りに職員一同力を合わせ頑張っています。

グループホーム よみたんふくぎの里

地域密着型事業所として、読谷村内在住の方々を入居要件とし、現在 9 名のご利用者が入居されています。認知症を患いながらも日常生活が楽しく送れるよう、余暇・行事活動として、おやつ会やリクエストメニュー、運動レク、屋外(ドライブ・遠足)等を実施し、内容の充実に取り組んでいます。



写真左から、読谷の里 松田 勝太郎 施設長、ふくぎの里 名呉 輝子 管理者、ふれあいの里 山城 弘美 管理者、紅華の森 嘉数 いく子 施設長

地域密着型介護老人福祉施設 紅華の森

紅華の森は 2 階建て、29 床で全室個室、3 ユニット制になっています。1 階のエントランスでは、ご家族との面会や地域との交流、クラブ活動、駄菓子屋では買い物を楽しめます。各ユニット名は「はなの家 10 名」「もりの家 9 名」「べにの家 10 名」からなり、それぞれ家庭的な雰囲気の中で、ご利用者の生活リズムに合わせて支援し、ゆったり過ごせる環境を整えています。



ユニットの様子



レトロな雰囲気のある駄菓子屋さんです



ご利用者と季節ごとに壁画を作成しています♪



お昼寝中のミニブタさん

特別養護老人ホーム 読谷の里 沖縄県中頭郡読谷村字座喜味 1875-1 TEL.098-956-2000 <https://www.yomisato.or.jp/>

大切にしたい、 あなたの今と未来

ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことをいいます。



障がいや病気のある家族のために ヤングケアラーが日常的にしていること



家計を支えるために
労働を助けている



幼い兄妹の
世話をしている



買い物・料理・洗濯
などの家事をしている



勉強や受験、進学



部活などの課外授業



自分だけの時間を
持つこと



身体的なケアをしている
(看病、見守り、トイレの介助など)



精神的なケアをしている
(話し相手になる、愚痴を聞くなど)



通訳をしている



友だちと放課後に
遊ぶこと



子どもらしく
自由に夢を描くこと



理解されること
気軽に相談すること

責任や負担の重さにより ヤングケアラーが諦めてしまっていること

SUPPORT LINE

一人で悩まず
気軽に
つよやいてね！

沖縄県ヤングケアラーチャンネル 友だち登録受付中！

LINEの友だち登録はこちら >>>



LINEで
できること

家族の
お世話の悩み

誰にも話せない
家庭のこと

家族の
お世話による
友だちとの悩み

将来の悩み

進学や就職に
関する悩み



沖縄県



運営

沖縄市泡瀬第三自治会「まーみな会」の活動を紹介します！



仲真 紀子 会長

今回、沖縄市泡瀬第三自治会（以後、当自治会という）で行われています「まーみな会」の活動について取材しました。
当自治会は、担当区域を21の班に分け、地域の見守り活動や地域住民同士のコミュニティを広げる活動（声かけ隊）などを行い、地域の実情に応じた様々な自治体活動を展開しています。
取材にお応えいただいたのは、当自治会で20年以上事務職員として勤められてきた仲真 紀子会長です。

まーみな会とは

まーみな会とは、当自治会担当区域の住民が週1回（毎週木曜、13時～）、泡瀬第3公民館に集まり、もやしのひげ取りをしながら、ゆんたくする活動です。

現在、73歳から94歳と幅広い年齢層の住民が15名参加しています。15名以外にも、地域の中で気になる高齢者などを見かけると、まーみな会への参加を促すなどしており、多くの地域住民が参加しやすい環境が整っています。

まーみな会は、2018年に仲真会長のお母さんを含む3名で始まりました。高齢化が急速に進む当自治会担当区域のことを考え、認知症予防や介護予防のため、手先を動かせる活動として、「もやしのひげ取り」を行うこととなりました。

仲真会長から「初めは3kgのもやしのひげ取りだけでも大変で、ゆんたくどころではなかった。少しずつ参加者も増え、作業にも慣れ、あっという間に終わるようになりました。今では毎回9kgのもやしを用意しています」とお話しがありました。

もやしのひげをとると料理した際の見た目や香りが良くなるだけでなく、日持ちしやすくなるため、まーみな会のもやしは人気だそうです。まーみな会参加者などを中心に販売もしています。

まーみな会の広がり

仲真会長から「色々な市町村の自治会や社協の方々が見学に来て、他の地域でも同様の活動が広がっています。明るく、楽しんで参加している皆さんを見ると、もっと多くの地域に広がればいいなと思います」とお話しがありました。



ソウエルクラブ

(福利厚生センター) ご加入のおすすめ

新規会員
募集中!

会員数 約270,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- 国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウエル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

地域に密着した事業

- 会員交流事業（旅行・観劇・スポーツ大会等）
- 地域開発メニュー

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈
- メンタルヘルス講習会
- 接遇講習会
- ハラスメント防止講習会
- e-ラーニング
(Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス, メンタルヘルス)

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業を営業者
- ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業
- ・加入対象者…上記事業に従事する役員全員（非常勤職員含む）

掛金

- ・第1種会員（常勤職員向け）…毎年度1万円
- ・第2種会員（非常勤職員向け）…毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。
- ※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

- ソウエルクラブ「クラブオブ」

ソウエルクラブ Sowel CLUB

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル
TEL ☎0120-292-711
FAX ☎0120-292-722
https://www.sowel.or.jp/

社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング

第26回 介護支援専門員実務研修受講試験 沖縄県の合格者は114人(合格率15.4%)

県社協では、沖縄県の指定により介護支援専門員（ケアマネージャー、以下ケアマネ）実務研修受講試験を10月8日（日）に実施しました。ケアマネ実務研修の受講希望者に対して、事前に介護保険制度や、保健医療福祉分野などに関する必要な専門知識を有していることを確認し、ケアマネの高い資質を確保することを目的としております。試験の結果は、昨年度の合格率12.5%を上回る15.4%でした。試験に合格した114人の皆様、おめでとうございます。

なお、県社協ではケアマネ実務研修受講試験対策を兼ねて、「介護人材キャリアアップ研修」や「ケアマネ対策セミナー」を実施しておりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください（県社協 福祉人材研修センター 098-882-5703）。

北部地区「福祉のしごと就職フェア」を2月16日に開催します！

県社協では、11月12日に福祉のしごと就職フェア（南部地区）を開催し、27施設事業所が出展し、90名の方（見学者を含む）が来場しました。

名護市福祉人材バンクでは、北部地区の福祉人材の確保を目的に、北部地区の福祉施設・事業所が出展する「福祉のしごと就職フェア」を2月16日（金）開催します。

『福祉に興味のある方、無資格未経験でも大丈夫』
皆様の来場をお待ちしています！

北部会場
令和6年
2月16日(金)
時間：12:30～16:00(開場12:00)
会場
21世紀の森体育館
(名護バンク主催)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

ケガの補償	保険金の種類			
	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
死亡保険金		1,040万円		
後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
入院保険金日額		6,500円		
手術保険金	入院中の手術	65,000円		
	外来の手術	32,500円		
通院保険金日額		4,000円		
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定旅行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
(引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)



令和7年度事業(一部令和6年度)に要する「民間福祉資金要望調書」の受付について

各福祉団体が計画する令和7年度(一部令和6年度)事業に係る民間福祉資金要望調書を沖縄県共同募金会が窓口となり受付します。実際の助成決定は令和7年3月となりますが、その前に〈どれだけの要望があるのか〉〈事業内容が適正であるか〉を確認するため「民間福祉資金要望調書」を提出する必要があります。

要望調書の申請受付は、令和6年3月下旬から沖縄県共同募金会ホームページに詳細を掲載しますのでご確認ください。

令和7年度(一部令和6年度)民間福祉資金 募集内容

資金種別	対象年度	対象事業	対象団体
中央競馬馬主社会福祉財団	令和6年度	障がい者(児)、老人、母子及び児童福祉事業にかかる車両・備品・施設の整備など	・社会福祉法人(市町村社協は原則対象外) ・公益社団法人 ・公益財団法人 ・NPO等
赤い羽根共同募金(広域)	令和7年度	地域の福祉課題を解決するための事業で、更生保護事業・研修会・大会開催や派遣・施設の環境整備や車両および備品整備など	・社会福祉法人 ・公益法人 ・一般社団法人 ・一般財団法人 ・NPO法人 ・任意団体 等
沖縄県社会福祉振興基金	令和7年度	社会福祉団体の活動、研修事業など	・社会福祉法人 ・公益法人 ・一般社団法人 ・一般財団法人 ・任意団体 等

※3月下旬に詳細をHP公開 ※提出期限は4月30日(予定)

Tポイントで「りゅうちゃん募金」

子どもの育ちと学びを支援するため、琉球新報社と県共同募金会が共同で実施している「りゅうちゃん子どもの希望募金」は、今年4月、Tポイントを展開する CCCMK ホールディングス(東京都)との提携による「りゅうちゃん子どものTポイント募金」を始めました。

TポイントカードかTポイントアプリを持っていれば、「Tポイント募金」のwebサイトを通じて1ポイントから寄附できます。4月から11月末までに2,934件、118,525ポイントが寄附されました。

集まったTポイントは、1ポイント1円として県共同募金会へ届けられ、子ども食堂や子どもの居場所、困窮世帯支援などに取り組んでいる団体への助成を通じて、子どもたちの成長と学びを応援します。

～気軽に社会貢献できる仕組み～

ネットから共同募金への寄附ができます

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、お住まいの町の福祉活動や防災・減災のために活用されています。

新しい募金の手法として、インターネットを通じてクレジットカードやコンビニ支払、ペイジー、キャリア決済などでも寄附ができます。

中央共同募金会のホームページからネット寄附を行うと「マイページ」が作られます。マイページでは、寄附履歴や受付中の募金をいつでも確認することができます。ほかにも中央共同募金会からのお知らせ等を見ることができますので、ぜひご利用ください。

※スマートフォン用QRコード



～沖縄県共同募金会からのご案内～

特定の社会福祉法人への寄附をお考えの皆様へ
社会福祉施設の建設、備品などの整備のための資金が必要な法人さまへ

「受配者指定寄附金制度」をご存知ですか

社会福祉法人など特定の受配者(寄附を受ける法人)を指定した寄附にも、「**一定の要件**」をみたせば、「**税制上の優遇措置**」を受けることができます。

「一定の要件」とは

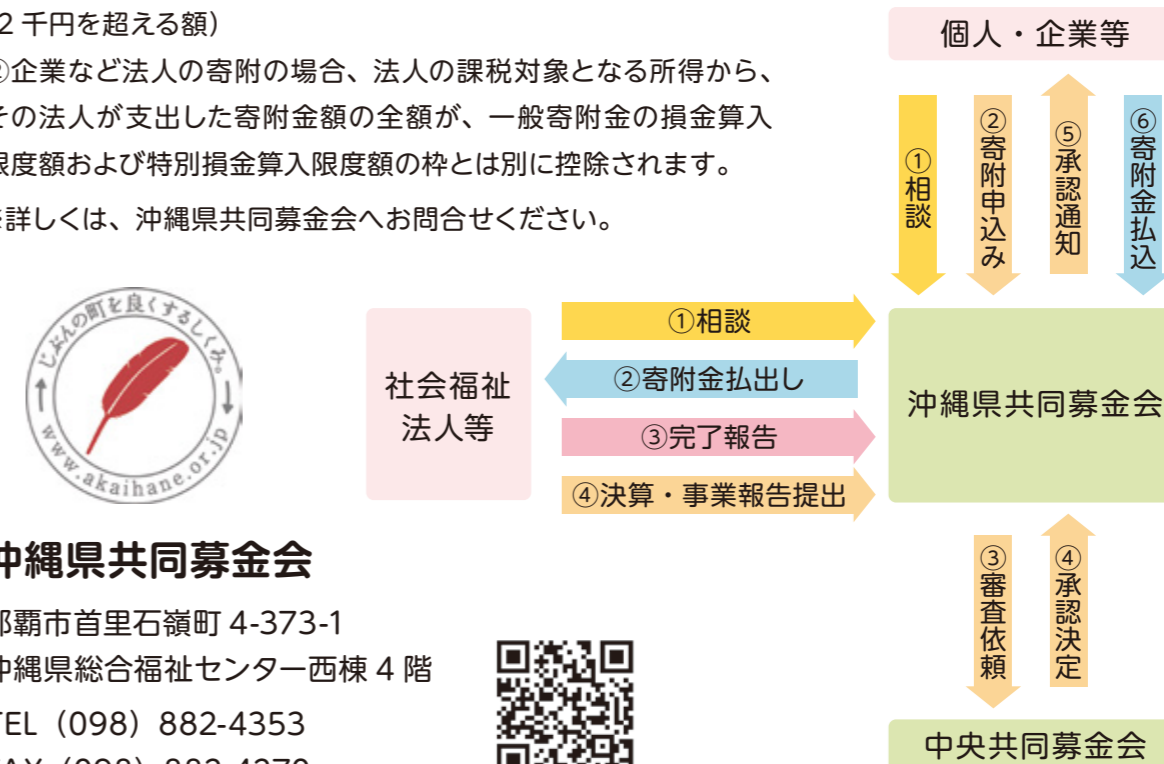
- ①受配者は、社会福祉事業または更生保護事業を行う法人であること
- ②寄附金の使途は次のいずれかに該当すること
 - ・土地購入費、借地料
 - ・施設の新築・増築・改築・改修等工事費、土地造成等の土木工事費、設備・備品の整備
 - ・独立行政法人福祉医療機構又は金融機関からの借入金の償還
- ③緊急に資金が必要であること
- ④共同募金会の審査において認められたものであること



「税制上の優遇措置」とは

- ①個人の寄附の場合、所得税については所得控除または税額控除、また個人住民税については税額控除の対象となります。(2千円を超える額)
 - ②企業など法人の寄附の場合、法人の課税対象となる所得から、その法人が支出した寄附金額の全額が、一般寄附金の損金算入限度額および特別損金算入限度額の枠とは別に控除されます。
- ※詳しくは、沖縄県共同募金会へお問合せください。

受配者指定寄附のながれ



沖縄県共同募金会

那覇市首里石嶺町 4-373-1
沖縄県総合福祉センター西棟 4階
TEL (098) 882-4353
FAX (098) 882-4270

